

第六十五回
帝國議會
貴族院

健康保險法中改正法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和九年三月十三日(火曜日)午前十時十分分開會

○委員長(伯爵松本宗隆君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス、大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、留保サレマシタル金岡君ノ御質問ヲ願ヒマス

○金岡又左衛門君 私ハ此度御提案ニナリマシタ健康保險法改正案ニ付キマシテ、内務大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、此健康保險法ハ政府ノ重要ナル社會事業トシテ行ハレテ居リマスルガ、從來ノ此成績ニ鑑ミテ今回之ヲ一層擴大セラレルト云フ改正案デアリマス、又今後ノ實績ニ鑑ミテ之ヲ一層擴充スルト云フコトノ御計畫デアルト云フコトモ、政府委員カラ承ッテ居リマス、固ヨリ此健康保險法ハ勞資協調ノ上カラ言ヒマシテモ亦産業能率ノ上カラ言ヒマシテモ、最モ是ハ時宜ニ適シタコトデアルト思ッテ居リマス、是ハ從來ノ健康保險法ノ運用上ニ付キマシテモ幾多ノ不利不便ガアルト考ヘテ居リマス、其不利不便ヲ、此度ノ改正案ヲ御出シニナルニ付テハ之ヲ餘程改善ヲセラレ、又矯正セラルベキデアッタと思ッテ居ルノデアリマスルガ、運用上其主ナル

モノハ醫療診察ノ方法、藥劑給付ノ方法、此醫療制度ノ方法ガ合理的ニ之ヲ實施スルコトヲ改正ヲサレナカッタ云フコトヲ、私ハ遺憾トスルノデアリマス、是ハ何ガ故ニ此政府ノ事業トシテ折角オヤリニナル此健康保險法ニ付テ、醫藥兩制度ノ詰リ分業制ヲ、之ヲ強制實施……之ヲ實施セラレナカッタカト云フコトヲ御尋イタシタイト思ヒマス、或ハ之ニ對シテ論者ハ言ヒマセウ、日本ニハ醫藥兩制度ガ布カレテ居テ、醫師法アリ藥劑師法ガアッテ布カレテ居ル、ソレハ被保險者ガ勝手ニ此利用ヲセナイノデアツテ、醫者ノ方デ診察モシテ貰フ、治療モシテ貰フ、又藥品モソコカラ給付ヲ受ケルト云フコトハ是ハ便利ナ方法デアアル、從來仕來リノ是ハ慣習トシテ便利法デアアルカラ、被保險者ガ醫者ノ方デ治療ヲシテ貰フ、診察シテ貰フ、藥モ貰フト云フコトニナルノデアアル、ソレハドウモ被保險者ノ勝手デヤナイカ、斯ウ云フ論者モアリマス、又政府委員モ先達テ來左様ナル御答辯モ承ッテ居リマス、ケレドモソレハ所謂理論デアアル、是ハ實際ニ即セザル理論デアアル、是ハ實際ト云フコトヲ能ク御知りニナラナイ、被保

險者、患者ガ醫者ニ向ッテ處方箋ヲ要求スルト云フコトハ是ハナカク、出來ナイ立場ニアル、醫師ノ方ニ於テハ處方箋ヲ出スコトヲ非常ニ嫌ハレル、處方箋ヲ出シマスト云フト、藥ガ出ナクナリマスカラ之ヲ嫌フ、處方箋ヲ出スト云フコトニ對シテハ殆ド蛇蝎ノ如ク嫌フ、自分ガ治療ヲ受ケ診察ヲ受ケル醫師ニ伺ッテ、蛇蝎ノ如ク嫌ハレル處方箋ヲ要求スルト云フコトハ、是ハ實際ニ於テ出來ナイコトデアアル、サウ云フコトデアリマシテ、之ヲ此儘ニ從來ノ習慣デアリ、慣習デアルト云フコトヲ以テ、之ヲ此儘ニシテ置カレルト云フコトハ、第一此醫師法ナリ藥劑師法ト云フ國家ノ法制ガ是ガ死藏サレテ居ル、何等利用サレテ居ラナイ藥劑師法ヲ制定サレテ居ル、醫師法、藥劑師法、醫、藥、兩制度ハ是ハ所謂車ノ兩輪デアアル、ソレニ依ッテ國家ノ藥學大學、藥學專門學校ト云フモノガ出來テ居ル、又藥學校ト云フモノガ出來テ居ル、藥劑師ガ全國ニ於テ二萬四千カラ出來テ居ル、ソレガ失業ニ迷ッテ居ル、藥劑師ノ中デ停車場ノ切符切リヲシテ居ルヤウナ現狀デアアル、是ハ詰リ此法制ガ死藏サレテ居ルト現狀

デアアル、サウ云フ事情デアツテ、是ハ一般社會ガ既ニ要求シテ居ル現狀デアアル、此醫、藥分業ト云フコトハ……、此點ニ付テ、政府ガ折角オヤリニナル健康保險法ニ付テ此分業制ヲ實施セラレナカッタ云フコトハ、是ハドウ云フ事情デアアルカ、又ドウ云フ御理由ノ下デアアルカト云フコトヲ承リタイト思ッテ居ルノデアリマス、是ハ既ニ一般社會ノ要求デアアル、モウサウ云フ時代ニ到達シテ居ルト云フコトヲ私ハ申上ゲイイト思ヒマス、元來我國ノ此醫、藥兩制度ト云フモノハ、是ハ御承知ノ如ク、今ヨリ六十年前ノ明治七年太政官制時代ニ於テ、是ハ獨逸系法ニ依ッテ採入セラレテ居ル制度デアリマス、其時ニハ既ニ此醫、藥兩制度ハ確然トシテ出來タ、其時ノ明治七年太政官制ノ時代ニ發布セラレタ醫制ヲ見マスト、第四十一條ニ斯ウ云フコトガアル、「醫師ノ處方書ヲ病家ニ附與シ相當ノ診察料ヲ受クヘシ、醫師ハ自ら藥ヲ嚥クコトヲ得ス」、チャント明記シテアル、第四十三條ニ、「醫師私カニ藥劑ヲ嚥キ或ハ藥舖ヲ通シテ奸利ヲ謀ルモノハ開業ヲ禁ジ文部省及地方廳ニ其事由ヲ報告スヘシ」、五十五條

ニ、調劑ハ藥舖ニ於テ藥舖主、手代及藥舖見習ニアラサレハ之ヲ許サス」ト規定シテアル、斯様ニモウ既に我國ノ此明治初年ニ於テ此醫、藥兩制度ハ確然トサレテ居ル、併シ當時ハ此醫師ニ比シテ藥舖ガ少イノデアリマスカラシテ、之ニ但書ガ附キマシテ、當分二等醫師ハ……一等醫師ハモウ藥ヲ醫グコトガ出來ナイ、當分二等醫師ハ願ニ依リ藥舖開業ノ假免許ヲ授ケラレ、而シテ調劑ヲ許スト云フコトニナツテ居ル、斯様ニシテ此太政官制時代ニ於テ既ニ醫、藥兩制度ガ茲ニ確立シテ居ルノデアリマス、ソレガ明治二十二年ニ於テ藥品取扱規則ト云フモノガ出來マシタ、此時ニハ一等醫師、二等醫師ノ區別ナク、總テ自己ガ診察スル患者ニ對シテ藥劑ヲ調合シ之ヲ販賣スルコトトナツタ、詰リ此時ハ稍、退歩シテ來テ居ル、ソレカラ次ニ大正十四年ニ於テ、茲ニ於テ藥劑師法ト云フモノガ制定サレタノデアアル、其時ニハ御承知ノ如ク明治二十二年ニ藥品取扱法ヲ削ッテ、サウシテ醫師ノ藥劑給付ノコトハ藥劑師法ノ附則トナツタ、營業取締法モ既ニ消シテシマツテ、藥劑師法ノ附則トナツタノデアリマス、サウシテ詰リ是ハ藥劑師法ニ暫ラク同居サレテ居ルヤウナ形デアル、今日ハ左様ナ形ニナツテ居ル、サウ

云フ譯デアルノデアリマスカラ、國家ニ於テハ既ニ其方針ヲ以テ教育ノ方面ニ於テ藥學大學藥學專門學校、藥學校等ヲ設立シテ藥劑師ヲ養成シ、其數ハ今日デハ二萬四千ノ大多數ニ上ツテ居ルノデアリマス、是ハ既ニ御承知ノ如ク、世界著名ノ文明諸國ハ總テ此醫、藥分業ヲ實施サレテ居ル、日本ハ今ヤ時期尙早デアルトカ、又國力ガ足ラナイトカト云フコトハ、ソレハモウ十年モ一世紀モ前ノ事デアルト私ハ考ヘテ居リマス、ソレヲ社會ガ要求シテ居ルト云フコトハ、社會ノ要求ドコロカ、既ニ識見アル醫師ノ側ニ於テモ此議論ガ立派ニ擡頭シテ居ル、是ハ一例デアリマスガ、醫學界ノ權威者デアアル醫學博士田代義徳氏ノ、先年岡山ニ於キマシテノ醫師大會ノ席上デ、斯ウ云フコトヲ述ベラレテ居ル、「醫藥ノ將來」ト云フ題デノ講演ノ下ニ、斯ウ云フ講演デアリマス、「往時患者ガ、醫師自ラ調劑投與シタル藥品ニ對シ、神祕的ノ效用アルカノ如ク一種ノ迷信トデモ云フベキ信用ヲ拂ヒタル時代ハ、既ニ過去ニ屬シテ居ル、今日ノ患者ニ對スル投與スベキ藥劑ハ、明ニ藥名分量ヲ周知セシメテ何等ノ不都合ハナイ、其所謂匙加減ト云フガ如キ言葉ハ、今日ノ醫學ニテハ全ク葬リ去ルベキデアル、診斷

ノ正シキカ、正シカラザルカ、嚴密カ、嚴密ナラザルカガ、患者ニ於テ段々ト醫師ノ技倆ヲ批判スベキデ、其藥加減ト云フガ如キハ兒戲ニ等シキ昔物語デ、斯ノ如ク一般民衆ヲシテ、醫師ノ診察ニ重キヲ置カシムベキ勢ヲ作ラムトスルニハ、醫藥分業以外ニ方法ガナイ」云々トアリマス、其外尙ホ理由ガアリマスガ、ソレハ省略シマス、最後ニ「醫藥分業ハ、醫學及藥學進步ノ結果トシテ生レ出ヅルモノデアッテ、便、不便トカ、醫師ノ收入ガ減ズルトカ、藥劑師ノ存在ガ危クセラルルトカ等ノ如キ物質上、又ハ實際上ノ見地ニ付テ論ズルヨリハ、寧ロ純然タル學問分科ノ立場ヨリ見テ分業スベキモノデアアル、此醫藥、學問上ノ進步ノ恩惠ニ浴スルモノハ一般國民デアアル」、斯様ニ田代醫學博士ガ詳々トシテ、此高邁ナル所論ヲ唱ヘラレテ居ルノデアリマシテ、是ハ丁度偶然ニモ土曜日ノ、一昨々日ノコトデアリマス、私ノ友人カラ直接私ハ聞イタコトデ、近ク内幸町ノ馬匹協會ニ出テ居ル獸醫ノ技師デアアル私ノ友人デアッテ、此委員會ノ終リマシタ土曜日ニ私ノ方ヘ參リマシテ談偶、此人ガ痔瘻デ非常ニ惱シデ居ル、非常ニ苦シンデ居ッタ人デアリマスガ、日本ノ市中醫ニ向ッテ痛ミヲ止メテ貰ッテ、サウ

シテ安眠ヲスルコトヲ話シタ、所ガ藥ヲ貰ッテソレヲ服シタ所ガ、暫ク經ッテカラ非常ナ苦痛ヲ感ジテ、手足先カラ瘤ノヤウニナツテ痙攣ヲ起シタリシテ非常ニ苦シンダ、サウシテ他ノ才醫者モ來テ貰ッテ立會ヲ願ッテ、二人ガ相談シテ入院ヲサシタト云フ、其後聞イテ見ルト云フト是ハ鎮痛ノ爲メ眠リ藥ヲクレテ、「モルヒネ」ヲ用キラレタ、ソレハマアソレデ宜イ、ドウモ局量ヲ誤ッテ看護婦ガ調劑シタカ、書生ガ調劑シタカ、分量ヲ誤ッタト云フコトガ後デ分ッテ非常ニ憤慨ヲシタ、是ハ藥劑師ノ藥局ガ此藥ヲ盛ツタノナラバ、私ハ告發ヲスル積リデアッテ、併ナガラ手醫者デアッテ、親シクシテ居ル人デアッテ、故意ニヤラレタノデナク、間違ヒデアルト云フノデ、其儘ニシテ居ル、ソレハ藥劑師ノ藥局ノ方デアッタ私ハヒカナイト云フコトヲツイ一昨々日偶然聞イタノデアリマス、藥劑師ニハ間違ガナイト言ヘマセヌ、不正モアルケレドモ、藥劑師ノ方ノ藥局ニ於ケル間違ハ分ルガ、醫師ノ方ノハ分ラナイノデアリマス、間カラ聞ニ葬ムラレル、是ハ事實カラ申シマシテモ、新聞紙ナドニ於テ、藥劑師ノ藥局ニ於テ間違ヘラレタモノハ悉ク新聞ニ出マス、醫師ノ方デ間違ッタコトハ新聞ニ出マセヌ、是ハ事實デア

リマス、是ハ申ス迄モナク醫師ノ方ハ診療シ、診察ヲセラレルガ、藥物學ニ依ッテ藥品ノ效能ニ付テモ學問ガアリマスガ、藥ニ對スル善惡、藥ノ變敗シテ居ルヤ否ヤ、藥ト云フモノハ時日ガ經ツト云フト變化シマス、又貯藏法ヲ誤マルト變化スル、下劑デアアル甘朮ノ如キハ光線ニ觸レルト劇藥ガ毒藥ニナル、サウ云フコトニ付テ之ヲ試驗ラシテ、之ヲ鑑別スルト云フ學問ハ醫師ニハ無イ、之ニ付テハ專門ノ藥劑師デナケレバ、藥ノ貯藏ニ當ッテ變化シテ居ルカ、變化シテナイカ、或ハ無効ニナッテ居ルカ無効ニナッテ居ラナイカト云フコトハ、之ヲ鑑別スルノ學問ガナイ、サウ云フ見地カラ致シマシテ、是ハドウシテモ一般社會保健衛生ノ爲ニ、此點ニ對シテ此分業ト云フモノニ對シテ、非常ニ是ハ御關心ヲ願ハナケレバナラスト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今不便デアルトカ、或ハ從來ノ慣習トカ云フヨリモ、ソレヨリモヨリ以上ニ危險ガアルト云フコトヲ私ハ申上ゲタイノデアリマス、ソレナラバ我國ニ於テ醫藥分業ニドウシテナラナカッタカラト云ウテ、何モ國民ガ不健康ニ陥ッテ居ル譯デハナイ、國民ガ段々ト薄弱ナ病體ノ國民ニナッタノデナイ、健康上ニ於テハ駭々トシテ進ンデ居ルト云フコトノ論

者モアリマセウケレドモ、ソレハ個人衛生、家庭衛生ノ發達ノ所以デアアル、個人衛生、家庭衛生ガ發達ラシテ今日ノ健康思想ガ發達ラシタノデアリマスカラ、サウ云フコトニナッテ居レバナル程、私ハ醫藥分業ヲ要求スルモノデアアル、今日出版物ニ於キマシテモ、言論界ニ於テモ、有ユル實業、文學專門雜誌ニ於キマシテモ、三分ノ一位ハ個人衛生ノコトニ付テ充サレテ居リマス、又新聞ナドニ於テモ、必ズ日曜新聞、其他ノ日刊ニ於キマシテモ、此衛生ト云フコトニ對シテハ非常ニヤカマシク言ッテ居ル、藥方高イノ安イノト云フコトヲ言ッテ居ラナイ、衛生ト云フコトニ對シテモ高イ安イノコトヲ言ッテ居ラナイヤウナ次第デアアル、斯様ニ進ンデ居ル今日ノ日本ノ國狀ニ於テ、其醫藥分業ト云フコトニ付テ如何ニ大臣ハ御考ニナッテ居ルカドウカ、健康保健法ニ於テ之ヲ實施スルト云フコトハ、分業ガ行ハレナケレバ出來ナイト云フ御考デアアルカ、健康保健法ニ於テ、先以テ政府ノ事業トシテ此制度ヲ行ハレルト云フコトガ最モ合理的デナイカ、又一般ノ社會ノ要求スル所デハナイカト斯様ニ考ヘルノデアリマス、御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御答ヲ致シマス、醫師ト藥劑師トノ分業ト云フコトハ隨分長イ間ノ問題デアリマシテ、丁度今御話ニナリマシタ如ク、疾ウニ於テ是ハ分業ニシタ方ガ宜イト云フコトガ出デ居ルノデアリマシテ、是ハ普クサウ云フ風ニナッテ居リマスガ、併シ實際ハドウスルカト言ヒマスト、ナカ／＼ソレハムツカシイノデゴザイマシテ、醫者ノ方デ見ルト、矢張り自身ニ醫藥ヲ賣ルト云フコトヲ欲スル者ガナカナカ多イノデアリマス、又反對ニ醫藥ヲ供給スル藥劑師ノ方ノ人ハ、又是非斯ウシロト云フノデアアル、此論ノ長イ間雙方ニアルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、而シテ日本ニ於テ是マデドウスルカト云フト、分業ヲスルト云フ如キコトハ初メテ明治聖代ニ於テ起ツタコトデアリマシテ、日本ハ固ヨリ醫者ト醫藥ト云フモノハ殆ドクツイテ居ルノデアリマス、其習慣ガナカナカ廢ラナイノデアリマシテ、ドウモ習慣ト云フモノハ、餘程之ヲ脱却スルト云フコトハムツカシイモノデアリマシテ、例ヘバ今モ世ノ中ノ問題トナッテ居リマスル「メートル」法ノヤウナモノニ付テモ、十五年ホド前ニ於テ「メートル」デナケレバイカヌト云フコトデ、學者連中ガ寄ッテ、サウシテ本年ヨリ「メートル」法ニスルトシテ、十五

年モ前カラヤッテ居ルノガ矢張り又實施ニ至リマス、ナカ／＼サウ行カナイノデアリマス、又今日已ムヲ得ズ五年ノ間延バサナケレバナラスト云フヤウナコトニナルノデアリマス、又融和團體ノ如キモ明治初年ニ於テ、明治大帝ガ四民平等トシテ何處デモ扱ハナケレバナラストセラレテ居ツタモノガ、今日ニ至ッテ矢張りサウ云フ風ニ行カズシテ、餘程政府ハ苦心シテ居リマスケレドモ、矢張り差別待遇ガ彼方此方行ハレテ居ルト云フヤウナコトデ、誠ニ道理ノ分ツタコトデアアルガ、ソレガ實際ニ行キマスト云フト餘程ムツカシイノデアリマス、既ニ醫業ノコトニ於キマシテモ、昨年醫師ノ法律ヲ改正イタシマシタ時ニ於テモ、遂ニ矢張り分業ハナカ／＼行フコトガムツカシイノデ、遂ニ其結果ハ、此醫者ノ診察ヲ受ケル人ニ於テ自由ニ任カセル、其人ガ若シ診察ヲ受ケテ、サウシテ醫藥ハ外ニ於テ求メタイト言ヘバ、矢張り其處方ヲ書イテ、サウシテ患者ニ渡サナケレバナラストコトニナッテ居ルヤウナコトデアリマシテ、餘程ソレハムツカシイノデ、遂ニ其コトニシタヤウナコトデアリマシテ、從ヒマシテ健康保險法ニ於キマシテモ矢張り同様デアリマシテ、假令強制的ニ保險ヲサセルトモ、藥ヲドウ

スル斯ウスルト云フコトハ、矢張り其被保險者即チ患者ノ自由ニ任カス、サウシテ行クト云フコトガ矢張り今日ノ時代ニ相應シタ法律デアル、他日ハ是ハ追ミ分レルヤウナ時ガ來ルデアラウガ、今日ハドウモ其處マデ行ツテ居ラナイ、此東京ノ如キ文化ノ進シテ居ル者ハ自身ニ醫藥ヲ盛ル者ガ相當多イノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナコトデアルカラ、ドウモ此處デ兩方ニ分ツト云フコトハ、先ヅ〱時勢ハ其處迄至ツテ居ナイ、矢張り斯ウ云フモノハ成ルベク患者ノ意思ヲ尊重セナクチャナラス、其意味ニ於テ矢張り是ハ自由ニシテ、即チ醫師法ノ改マツタト同ジヤウナ意味ニ於テ、此保險法ニ付テモ患者ノ、即チ被保險者ノ意思ニ任セルト云フコトガ至當デアル、斯ウ政府ハ思ヒマシタ所以デアリマス

○金岡又左衛門君 今大臣カラ色々御答辯デアリマスガ、要スルニドウモ從來ノ慣習ハナカ〱改メニクイ、此從來ノ慣習ト云フモノハ一朝一夕ニ改メラレヌ、「メートル」法ノ例ヲ御引キニナツテ、之ヲ五年間延長シタヤウナ次第デ、ナカ〱改メラレスト云フヤウナコトゴザイマシタ、又患者ノ都合ニ任シテ、自由ニ任シタ方ガ宜イノデア

ト云フ御答辯ニ是ハ歸著シマスガ、ドウモ私ハソレデハ十分ニ私ノ質問ニ對シテ御答辯ヲ得ラレナイノデアアル、ソレハナカ〱御苦シイ立場デアルコトモ御察シ致シマス、是ハ唯從來ノ慣習上已ムヲ得ヌト云フコトデ、是ハ等閑ニ付シテ置クベキ問題デナイ、「メートル」法ヤ其他ノサウ云フヤウナコトノ慣習ヲ以テ此貴重ナ人命ニ係ル、保健衛生ニ係ル、延イテ國家ノ國力ノ消長ニ係ル問題ヲ、唯習慣上已ムヲ得ヌト云フコトデハ……是ハ一段ノ私ハ御關心、御考究ヲ願ハネバナラスト思フテ居リマス、患者ノ自由、患者ノ利便ニ任セルト云フコトハ、先程私が申上ゲマシタヤウニ、ソレハドウシテモ處方箋ヲ要求スルト云フコトハ實際出來ナイノデアアル、診察ヲシテ貰フ、治療ヲシテ貰フ、其醫師ニ向ッテ法ノ命ズル所ニ依ツテ、醫師ハ故ナクシテ處方箋ノ交付ヲ拒ムコトヲ得ナイト明記シテアリマスケレドモ、是ハ患者カラ請求スルコトハ出來ナイノデアリマス、十人ガ十人、百人ガ百人、醫師ガ蛇蝎ノ如ク嫌ハルル其處方箋ヲ要求スルコトハ出來ナイノデアリマス、又此處方箋ガ大事ナモノデアアル、サウ云フモノヲ要求スルコトハ、實際ニ於テハ出來ナイト云フ譯ニナツテ居ルノデア

リマス、ソレハ藥ハ診察治療ト直ニ醫藥ノ效力ヲ、效能ヲ其處ニ求メテ治療スルト共ニ、其診斷ガ定マルト共ニ藥ヲ投ズルト云フモノデアリマスケレドモ、ソレ以上ニ今日ノ制度デハ危險ガアル、間違ガアル、ソレニハ代ヘラレナイ、茲ニ分業ヲシナケレバナラス、此手術モシ、診察モシ、治療モシ、藥モ出ス、先達テ私モ申上ゲマシタケレドモ、一ツノ事業ニ於テ、營業上販賣モシ、買入レモスル、會計モスル、決算モスル、サウ云フ事業ニハ必ズ間違ガ起ル、又不正ガ起ル、間違ガ起ラナイ、不正ガ起ラナイト云フコトハ嘘デアル、必ズ間違ガ起ル、不正ガ起ル、一人デ何モカモ初メカラ終ヒマデ一人デヤツテ居タノデハ、間違ガ起ルノデアアル、而シテ其間違ハ永遠ニ分ラナイ、實際ニハ營業係、販賣係、仕入係、會計ハ會計係、決算ハ決算係ガアツテ、茲ニ初メテ分業ニ事ガ間違ナク進ムノデアリマスガ、ソレガ診察モシ、治療モシ、藥モスル、處方、診斷モスル、是デヤ分ル筈ガナイ、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、是ハ時代ハ既ニ要求シテ居ル、衆議院ノ健康保險法ニ於キマシテハ、今迄管テナイ論議ガ行ハレタ、八回ニ亙ツテ委員會ヲ開カレテ、全員悉ク此醫藥制度ニ付テ質問ヲシテ居ラレ

マス、サウ云フ狀態デアリマス、モウサウ云フ時期ニ到達シテ居ル、未ダ到達シテ居ラナイト云フヤウナ、大臣ノ只今ノ御話ハ、是ハモウ進シテ御觀察ヲ願ヒタイ、現狀ハ決シテサウ云フ時期デハアリマセヌ、社會ハ澎湃トシテ此醫藥分業ノ、完全ナル醫藥分業制度ヲ要求シテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲマシテ、之ニ對シテハ一大ノ御關心、御決行アラムコトヲ私ハ希望ヲ申上ゲマシテ、之デ私ノ質問ハ終リマス

○川崎卓吉君 私ハ簡單デスカラ、政府委員デ……前同デアリマシタカ、保險醫ノ除名サレタ數ノ御話ガアリマシタガ、アレハ多分數年ニ亙ツタ數デアッタと思フノデスガ、アノ違反行爲ト云フモノハ、年々同ジヤウナ數デアリマスカ、或ハ保險事業ヲ施行サレタ年ニ於テ、其後段々減少シテ居ルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスルカ、ソレガ一ツ、ソレカラ懲戒ヲサレマシタ違反行爲ノ性質ト言ヒマスカ、ドウ云フ種類ノ、ドンナモノニ依ツテ懲戒サレタノデアリマスカト云フコトガ分リマスレバソレヲ、又サウ云フ懲戒ニ附セラレルニ至ツタ、即チ發覺ノ徑路ト言ヒマスカ、ドウ云フ風ナ機會ニ發覺サレテ懲戒サレルト云ツタ……斯ウ云フコトニナツタノデアリマス

カ、其コトト、ソレカラ之ニ付テハ十分監
督シテ居ルト云フ御話ガアリマシタガ、サ
ウ云フ違反ノ行爲ノアツタ場合、事後ニ懲戒
處分ヲスルト云フヤウナコトモ監督ノ方法
デアルガ、事前ノ監督ト云フヤウナ方法ニ
付テハ、ドンナコトガアルノデアリマスカ、
ソレヲチョット御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(川西實三君) 毎年ノ狀況ヲ申

上ゲマスト、處分ノ中デ一番重イ除名、此
數ハ昭和二年度ニ於テ十一人、三年度十七
人、四年度二十六人、五年度三十二人、六
年度三十九人、七年度三十五人、八年度
二十九人、斯ウ云フ狀態デゴザイマス、其外
ノ強制辭任トカ、戒告トカ、注意、總テヲ合
シタモノヲ申上ゲマスト、二年度ニ於キマ
シテハ四十二人、三年度ニ於テハ九十二人、
四年度ニ於テ四十五人、五年度ニ三十二人、
六年度ニ三十三人、七年度ニ四十五
人、八年度ニ二十二二人、斯ウ云フ狀態デ
ゴザイマス、ソレカラ不正ノ種類ト申シマ
スカ、ソレハ、重イモノデ、詰リ除名處分等
ニ處シマシタ者ハ、大體藥ノ附ケ掛ケ、或
ハ診療度數ト云フモノノ附ケ掛ケ、斯ウ云
フヤウナコトガ多イヤウデゴザイマス、輕
イノハ、帳簿ノ整理ニ付テ、疎カニナツタ、
不正確ナ點ガアル、別ニ故意ニ、惡意ト云

フヤウナ點ガアツタ譯デハナイ、斯ウ云フヤ
ウナモノニ對シテハ、將來ノ注意ヲ與ヘ
ル、詰リ事務ヲ正確ニヤラナケレバ困ルト
云フ見地カラ、注意ヲ與ヘル、斯ウ云フノ
デゴザイマス、ソレカラ發見ノ方法ハ、是
ハ色ミゴザイマシテ、時ニハ被保險者カラ
投書ノヤウナモノガアリマシテ、ソレニ基
イテ調べヲシテ、果シテサウ云フ場合ガア
ルカドウカト云フコトヲ發見シタヤウナ場
合モゴザイマス、又醫師會自體トシテハ、
ドウモ此醫者カラ請求シテ來ル所ノ點數ガ
何トナク多過ギルト云フヤウナ感ジガス
ル、斯ウ云フヤウニナル所カラ其醫者ヲ醫
師會側デ調べマシテ、サウシテ患者ノ受ケ
タ診療ノ内容ト、醫師自身ガ自己ノ手許ニ
於テ整理シテ居リマスル諸書類ノ内容ト、
ソレカラ其醫師ガ醫師會ニ對シテ請求シテ
參リマシタ診療ノ點數ト、ソレ等ヲ比較イ
タシマシテ喰違ヒガアルコトヲ發見シテ、
サウシテ不正ヲ戒メル、斯ウ云フヤウナコ
トガアルノデアリマス、政府側ト致シマシ
テハ各府縣ニ視察員ト云フ者ガ設ケテアリ
マシテ、是ガ常ニ注意ヲ拂ッテ居リマス、又
普通診療費ノ請求ガアリマス場合ニモ、始
終醫師會同様、或ハヨリ以上ニ注意ヲ致シ
テ居リマシテ、矢張り醫師ニ於テ如何ヘン

イ行爲ガアリハシナイカト云フヤウナ場合
ニ於テハ、特ニ注意シテ其内容ヲ検査ヲス
ル、是ハ日常ノ事務ノ扱ヒニ於テサウ云フ
注意ヲ拂ッテ居リマス、尙ホ日常ノ事務ニ於
キマシテハ、視察員ノ活動ノ外ニ、全國ノ
主ナル府縣ニ於キマシテハ專門ノ技師、官
吏トシテノ技師、或ハ又有給ノ囑託ヲ、專
門ノ技術ヲ持ッテ居リマス有給ノ囑託ヲ置
キマシテ、專門ノ方面カラ始終注意シテ
居リマス、斯ウ云フ狀態デアリマス、其外
ニ此前ノ委員會ノ時ニ御説明申上ゲマシタ
ヤウニ、臨時的ノ特別ナル検査ヲ致シマシ
テ、動モスレバ弊害ノ起リ易イヤウナ病
氣、例ヘバ脚氣トカ、或ハ「トラホーム」ト
カ、微毒トカ、濫診ト申シマスカ、濫療ニ
陥リ易イヤウナ、又其間ニ不正ガ行ハレ易
イヤウナ病氣ニ付テ、特別ナル検査ヲスルヤ
ウナコトヲ致シ、又サウ云フ病氣ニ罹ラズ
ニ、如何ハシイト思ハレルヤウナ、或ハ特
ニ注意ヲ要スルヤウナ方面ノ醫師ニ對シテ
特別ナル診療内容ノ調査ヲスル、之モ此前ノ
委員會ノ時ニ申上ゲマシタヤウニ、最近行
ヒマシタヤウナ次第デアリマス、ソナナ方
法ニ依リマシテ發見イタシテ居リマシヤウ
ナ次第デアリマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 一寸川崎君ニ
申上ゲマス、政府委員ト御問答中デアリマ
スルガ、私大臣ガ御見エニナリマシタカ
ラ、大臣ニ一點御尋ネヲ致シタイ、大臣ハ
御急ノ様子デアリマスカラ……
○川崎卓吉君 私ノハ濟ミマシタ
○委員長(伯爵松本宗隆君) 甚ダ何デス
ガ、ソレデハ大臣ニ一寸御伺ヒ致シタイノ
デスガ、申スマデモナク本案ノ保險事業ハ
國家安寧ノ根幹ヲナス所ノ、國家トシテ行
ハナケレバナナイ大事業ノ一ツデアリマ
ス、外國デハ國民ノ約三割ガ加入シテ居ル
サウデアリマス、我國ノ勞務者ノ數ハ約千
三百萬アルサウデアリマシテ、此強制加入
ハ二百萬、改正ニ依ッテ加入スル者ガ
二十九萬、任意ノ加入ト云フモノハ寥々
タル有様デアルト云フコトデアリマス、
是ガ此度ノ改正案ノ理由書ヲ拜見イタシ
マス、時代ノ進運竝ニ現下ノ時局ニ鑑
ミテ、ト大イニ謳ハレテ居ッデ、政府
ハ時局ガ斯ウ云フ改正ノ必要ニ迫ラレテ
居ルト云フコトハ十分認メラレテ居ルヤウ
デアリマスルガ、併ナガラ此改正ノ實體ニ
於テハ僅ナル範圍ノ小擴張ニ過ギナイ、即
チ二十九萬人ヲ加入セシメルト云フヤウナ
事實ニ過ギナイノデアリマス、列國ノ狀態
及此理由書ノ結果カラ見マス、甚ダ此事

實ノ進行ハ半歩遅々タル感ヲ私ハ持ツノデアリマス、ソレハ無論國家ノ財政ガ此際大擴張ヲ許サナイト云フコトハ大イナル支障トハ存ジマスルガ、私ハ大臣ニ御尋ネ致シタイト云フノハ、今日マデノ方法法則ヨリ暫ク離レテ、眼ヲ轉ジテ、將來ニ何等カ一大革新ヲ以テ、此大衆ヲ包括スル所ノ大方策ヲ新ニ樹立セラレナケレバナライヤウニ、私ハ國政上左様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、恐ラク大臣ニモ之ニ對シテ相當ニ御考慮アラセラルコトト信ジマスルガ、幸ヒ此席ニ御出席ヲ得マシタカラ、御考ヘノアル所ヲ御明答ヲ得テ置キタイノデアリマス、先日來ノ問答ニ依ッテ政府ハ將來ニ向ッテハ、理想的ノ大抱負ヲ持ッテ居ラルヤウデアリマスルガ、今日マデノ方法法則デハ其理想ノ彼岸ニ到達スルコトハ、私共ハ前途遼遠デ、到底ソレハ不可能ノコトニ思ハレルノデアリマスルガ、願クバ是ハ希望デアリマスルガ、時局ガ迫ッテ居リマスルカラ、巧運ヨリモ拙速デ、速カニ何等カ改良、方策ヲ、別箇ノ新ナル英斷ヲ以テ立案ヲ私ハ希望ヲ致スノデアリマス、此點ハ私ノ希望デアリマス、大臣ノ御考ヘヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此保險ノコ

トニ付キマシテハ、當局ト致シマシテハ、成ルタケ進メテ行キタイト思ヒマシテ、此度モ只十人以下五人マデノモノ、ソコニ又保險ニ入レルモノニ付キマシテモ、餘程ノ分界ヲ設ケテ居ルヤウ次第デアッテ、若シ幸ヒニ之ヲ御協賛ヲ得マシテモ約二十九萬人餘ノ程度デ、モウ少シ進メタイト思ヒマシテ、實ハ當局ハ今御話ノ如ク、モット國家ガ之ニ付テ保護シテヤリタイト云フ考ガアリマシテ、一通リ案ヲ拵ヘテ、ソレデボツ／＼ヤッテ行カウト云フコトデアリマシタケレドモ、何シロ時局ノ爲ニ色々國家ノ入費ガ強クアリマシテ、遂ニソレハ斷念ヲ先ズ今日ハ致シマシテ、今日迄ノ保險ノ力ニ依ッテ爲シ得ル程度ニ於テヤッテ居ルヤウナコトデアリマスノデ、是ハドウモ矢張り時期ガ來レバ、モット進シダ途ヲ探ラナケレバナラヌト云フコトハ思ウテ居ル次第デアリマス、然ラバドウ云フコトカト言ウテ見マスト、此處デ詳シク申上ゲル所マデハ到ッテ居リマセヌ、ソレカラ又此保險ノコトニ付キマシテモ、此間モ本會議ニ於キマシテ、此委員ニオ成リニナッテ居リマス金杉君カラ、結核豫防ニ付テ御話ガアリマシタガ、是等ノコトニ付キマシテモ、餘程進シデヤラナケレバナラヌト云フコトヲ切ニ思ウテ

居リマスケレドモ、何方カト云フト、サウ云フコトヲ考ヘレバ、ドウモ結核豫防ノ如キモノニ付テハ、モウ少シ國民トシテハ進シデヤラナケレバナラヌ、又其他ニ付テ、癩病ノ如キモドウシテモ此三十年以内ニハ根絶シヤウト云フヤウナ希望デ居リマスケレドモ、何シロ先立ツモノハ矢張り主ニ入費デアリマスノデ、ソレガ思フヤウニ行カズニ居ッテ、衛生上社會上ノコトニ付テハナカ／＼……、若シ經濟ガ許スナラバ是モヤリタイ、ドレモヤリタイ、相當多イノデアリマスガ、如何セム、其處迄マダ進シデ居リマセヌノデアリマス、尙ホ今ノ御希望ニ加ヘテ御質問ノ點ニ付キマシテハ、篤ト又考ヘマシテ、成ルベク御希望ニ副ヒタイト云フ考デゴザイマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 深甚ナル御考慮ヲ承リマシテ諒承致シマシタ、委員外ノ川村伯爵ヨリ大臣ニ御質問ノ要求ガアリマシタガ、御許ヲシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵松本宗隆君) 川村伯爵ニ御許シ致シマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 只今私ハ傍聽シテ居リマシタガ、今大臣カラ、結核豫防ノコト及ビ癩ノコトニ付テ御話ガア

リマシタガ、御話ノ一點ニ付テ不當ニ考ヘマスカラ、其點ニ付テ御許ヲ乞ヒマシテ、自分ノ間違ッテ居ルコトナラバ、之ヲ訂正イタシタイト思ヒマス、只今大臣ハ癩ノコト、結核ノコトニ付テ、之ヲ撲滅ヲ目的トシテ施設ヲスル、唯如何セム、費用ニ於テ頗ル思ハシクナイカラシテ已ラ得ズ、十分ナ豫防ノ施設ガ出來ヌコトハ甚ダ遺憾ダト云フコトヲ仰セラレマシタガ、私モ先日金杉博士ノ議場ニ於テノ御質問ヲ拜聽イタシ、此內務省ニ於テ之ニ付テ御研究ノ結果ハ、全ク治療機關ニ依ッテノミ結核豫防ノ目的ガ達成セラレルカノ如ク拜聽イタシタノデアリマス、私ハ之ニ付テ大ナル疑問ヲ持ッテ居ル、結核豫防ノ如キ重大ナル國家ノ施設ニ對シテ、單ニ治療ノミニ依ッテ此目的ヲ達スルコトハ不可能ノコトト私ハ考ヘマス、又癩ノコトモ御話ガアリマシタガ、癩ノ撲滅ニシテモ、實例ガ各國ニ澤山アリマス、決シテ是ハ治療ノミニ依ッテ目的ヲ達スルコトハ出來ヌノデアリマス、只今大臣ノ御話ヲ伺ヒマス、略、內務省ノ御意見モ、治療ノミニ依ッテ此目的ガ達セラレルカノ如キ御口調ニ拜聽イタシマシタカラ、此點ヲ是非私ハハッキリト致シテ置キタイト思ヒマス、是ダケ大臣ニ伺ヒマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 政府委員カラ御答イタサセマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 宜シウゴザイマス

○政府委員(大島辰次郎君) 誠ニ御尤ナ質問ダト存ズルノデアリマスガ、結核ノ豫防及ビ癩ノ豫防ト云フ問題ハ、既ニ御承知ノ通り是ハ非常ニ重大ナ問題デアリマス、其問題ニ付キマシテ内務當局ト致シマシテモ、日夜色々苦心シテ、是ノ豫防撲滅ニ付テ調査研究ヲ怠ラナイノデアリマスガ、是ノ豫防撲滅ト云フコトハ、固ヨリ治療及隔離ト云フコトハドウシテモ致サナケレバナラスコトデアリマス、此豫防方策ノ核心ヲ此點ニ置カナケレバナラスト云フコトハ勿論デアリマスガ、ソレト同時ニ單ニ治療ノミヲ以テ致シマシテ、此大イナル仕事ヲ遂行スルコトハ不可能デアリマシテ、ソレト同時ニ、一般ノ保健状態ノ向上ト云フコトヲ同時ニ致サナケレバナラスノデアリマス、併シナガラ從來ノ我國ノ衛生ノ色々ノ事業ノ狀況ヲ見マスト云フト、動モスレバ各個人々々ニ對シマスル治療方面ニカラ注グノミデアリマシテ、一般ノ衛生状態ノ向上ト云フコトニ付キマシテハ、甚ダ歐洲諸國ニ較ベマシテ、非常ニ遅レテ居ル所ノ感

ガ致スノデアリマス、是ハ非常ニ遺憾ナコトデアリマシテ、國防デアリマストカ、産業デアリマストカ、其外教育ト云フ様ナ諸般ノ施設ガ、歐米各國ニ比シマシテ遜色ノナイト云フ風ニ申サレテ居ル今日、一般衛生ニ關スル施設ガ非常ニ遅レテ居ルコトハ甚ダ遺憾ナ點デアリマス、癩ノ豫防及ビ結核ノ豫防ノ問題ニ付キマシテモ、私共ハ單ニ治療ノミヲ以テ満足スルト云フノデハナイノデアリマシテ、一般ノ衛生状態ノ向上、一般保健施設ノ進歩發達ト云フコトモ併セテ出來ルダケ致スコトガ、固ヨリ肝要ナコトガラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 私ハ只今衛生局長ノ明瞭ナル御答辯ニ付キマシテ、別ニ續ケテ伺フ必要ハゴザイマセヌ

○金杉英五郎君 只今川崎君ノ御質問ニナリマシタル事柄ト關聯シテ伺ヒタイと思ヒマス、昨日保險醫ノ違反者ガ、七年間ニ三百十九人アツタト云コトヲ承リマシテ、是ハ由々敷キ一大事ト存ジマシテ、此方面ニ取調ベテ見タノデアリマス、確カニ三百十九人ノ犯罪者ガアツタト存ジテ居リマス、其内譯ハ昨日モ承リマシタガ、尙ホ私ノ調べマシタル所ヲ詳シク申述ベテ、記録ニ留ム

ルコトヲ今必要デアルト存ジマスルノデ、發育ヲ願ヒマシタ次第デアリマス、此三百十九名ノ中ニ除名、即チ指定取消ヲサレマシタ者ガ百九人ニ及ンデ居リマス、是ハ全クノ許スベカラザル違反者デアリマス、ソレカラ辭任シタル者ガ十七人アリマス、是ハ取扱ヒガ煩雜デ共任ニ堪ヘナイト云フ様ナ趣意ノ者ガ多ノデアリマス、ソレカラ戒告ヲ受ケタ者ガ九十一人、是ハ運用ノ方針ヲ能ク知ラザルモノガ間違ガ出來テ、サウシテサウ云フ風ニシテハイカナイト云フコトヲ戒告シタモノト云フコトデアリマス、ソレカラ注意イタシタルモノガ九十四人、是モ手違ノ爲ニ、或ハ故意ニ事柄ヲ間違ヘタヤウナモノデアリマセウガ、點數ガ多過ギタトカ、或ハ中ニハ點數ヲ書キ出ス事實ガ間違ッテ居ッタト云フヤウナ事柄デアルサウデアリマス、ソレカラ不問ト云フ者ガ八名アリマシタ、是ハ疑ヲ以テ問ヒ合セテ見タ所ガ何等ノコトモナイト云フノデ、不問ニ附シタト斯ウ云フノデアリマス、右様ノ状態カラ見マスルト、三百十九人ノ犯罪者ノ中ニ二百十人ト云フモノハ、實際手違カラ起ッタル犯罪デアリマシテ、眞ノ犯罪者ハ百九人デアル様ニ思フノデアリマス、唯合計三百十九人トアリマス爲メ、三萬五千人

ノ保險醫者ノ中デ七年間ニ三百十九人ノ犯罪者ヲ出スト云フコトハ、甚ダ不都合デアルト云フコトヲ世ノ中カラ見ラレルト思ヒマスノデ、此點ハ何モ醫者ノ最良ヲスル譯デモアリマセヌガ、事實ヲ明白ニシテ置クコトガ甚ダ必要ト思ヒマス、當局ノ御意見ハ如何デアリマスカ、私ノ申シマシタコトト違ッテ居リマスカ、或ハ同一デアリマスカト云フコトノ御答ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(川西實三君) 此三百十九名ノ内譯、内容ハ金杉サンノ御話ノ通りデアリマス、唯強制辭任トモ言ヘルノデアリマスガ、強制辭任ハ、手續ガ煩雜ナ爲ニ御醫者サンノ方カラ罷メラレタト云フヨリモ、不都合ナ點ガアリマシタノヲ能ク説キ聞カセマシテ、サウシテ辭表ヲ出サセル、斯ウ云フ手續ノモノデアリマス、聞キ間違デアッタカモ知レマセヌケレドモ、チヨット申上ゲテ置キマス

○子爵梅園篤彦君 前回ニ於キマシテ、疾病ノ豫防ニ付テ御伺ヒラ致シマシタノニ對シマシテ、只今此豫防施設ニ關スルソレノノ御配布ヲ受ケマシタノデ、之ヲ拜見イタシマスルト、相當ノ施設ヲバ致サレテ居リマスノヲ見マシテ、誠ニ結構デアルト存ジマス、就キマシテハ尙ホ此豫防施設ノ御趣

旨ヲ徹底セシムル爲ニハ、都市ニ於ケル衛生組合等ト聯絡ヲ取ルコトガ便利デアルカト存ジマスガ、當局ニ於キマシテハ、此衛生組合ヲ之ガ爲ニ御利用ニナルト云フヤウナ御考ハアリマセヌノデセウカ、御伺イタシマス

○政府委員(丹羽七郎君) 御答イタシマス、從來此保險施設ヲ實施イタシマスニ付

キマシテハ、道府縣廳ヲ通ジマシテ、主トシテ工場主側或ハ工場懇話會其他ノモノヲ活動スルトカ、或ハ工場關係ノ産業福利施設ヲ活動サセルト云フヤウナ方面ヲ主トシテ致シテ居リマスガ、衛生組合ノ如ク一般住民ノ衛生保全ト云フヤウナコトヲ職能ト致シテ居リマス團體トハ、今日マデ直接關係ヲ保タズニ行ハレテ居ルト考ヘテ居リマス、御話ノヤウニ、モノニ依ッテハ衛生組合ト聯絡ヲスルヤウナコトガ必要ナ場合ガアルカト思ヒマスガ、併シ今日マデノ所其點ハハッキリ申上ゲル程我トシテモ研究ガ積ンデ居リマセヌノデ、只今ノ御尋ハ同時ニ御注意トモ考ヘマシテ、能ク其點ハ一ツ研究イタシテ見タイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御答辯デ満足致シマスガ、尙ホ常時衛生組合ハ、衛生事務ニ

當ッテ居ルノデアリマスルカラ、之ヲバ御利用願ヒマシタナラバ、相當便利ヲ得ラレルデアラウト思ヒマスルカラ、十分ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホモウ一點御伺ヒ致シタイノデゴザイマスガ、申ス迄モナク健康保險制度ハ、勞資協調ノ精神ノ下ニ、勞資ノ共存共榮ヲ目的トスルモノデアリマシテ、從テ一面健康保險ノ擴大強化ニ依ッテ被保險者ヲ保護シ、其健康ヲ保持セシムルコトハ誠ニ結構デアリマスルガ、他面勞働者同様ニ勞務ニ服シテ居リマスルト云フヤウナ狀態ノ下ニアル者ノ多イ小工場主ヲシテ、難解ノ法令ダトカ、複雑ナル手續カラシテ之ヲバ救フト云フコトモ亦急務デアルト思ヒマス、然ルニ實際ニ於キマシテハ、

法的觀念ニ乏シイ是等ノ小工場主ハ、適法ノ手續ヲバ得ズシテ、一方ニ於テハ其負擔ヲ受ケナガラ、他方ニ於テハ其恩惠ニ與ラナイト云フヤウナ狀態ニアル者ガ相當ニアルカト思ヒマス、尤モ政府ニ於テモ相當是等ノ點ニ付テ留意セラレマシテ、手續ノ簡易化ニ努メテ居ラレマスと云フコトハ、之ヲ多ト致シマスガ、當ニ來年度カラ郵便局ニ於テ金錢ノ取扱ヲバ爲サシメラルルト云フニ止マラスシテ、尙ホ徹底的ニ手續ノ簡易化、趣旨ノ徹底ニ努メラレマシテ、懇切

ナル指導ヲセラレルコトヲバ希望致ス次第デアリマス、就キマシテハ是等ノ點ニ關シマシテ、特ニ御研究ニナッテ居ル所ガアルデアリマセウカ、若シ其御腹案デモアリマスヤウナラバ、此際ニ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(川西實三君) 手續ノ簡易化ノ問題ニ付キマシテハ、只今御言葉ノ中ニゴザイマシタヤウニ、第一番ハ郵便局ヲ利用スル、即チ保險料ヲ納付致シマスノニ、從

來ハ日本銀行並ニ其代理店、支店、ソレカラ各府縣ノ保險課、斯ウ云フノニ限ラレテ居リマシタノヲ、全國一萬ニ近イ郵便局ノ窓口ニ於テ保險料ヲ受取ルコトガ出來ルヤウナ話ガ、逕信省、大藏省方面ト數年ノ懸案デアリマシタモノガ、ヤット出來上リマシテ、來年度カラ實施ノ運ビニナルト云フ狀況ニナッテ居リマス、其外ノ問題ト致シマシテハ、勅令以下諸般ノ省令規則、或ハ告示其他書類ノ様式等ニ付キマシテ、出來ルダケ簡易ニシ得ルモノハナイカト云フコトヲ目下頻リニ調べテ居リマス、ソレデ此問題ニ關シマシテハ、固ヨリ保險ノ事務ガ金錢ヲ扱フ仕事デゴザイマスシ、又被保險者ノ權利義務ニ關スル重要ナモノデゴザイマスカラ、書類モ或ハ形式モ相當整ツタモノデ

ナケレバナラスト云フ限界ハゴザイマスケレドモ、其本質限界ヲ侵サナイ限りハ、一ツ出來ルダケ様式モ簡單ニ、又帳簿類等モ簡單ニ、省キ得ルモノハ省クヤウニト云フ風ニ致シタイト思ヒテ居リマス、デ具體的ニ研究ヲ致シテ居リマスガ、ソレ等ノ點ヲモ考ヘマシテ、此法案ノ施行時期ヲ昭和十年度カラト致シテ居ル譯デ、其準備期間ニ於

キマシテ、實地ニ當ッテ居リマス者ノ意見、又當業者ノ意見ト云フモノヲ十分參酌イタシマシテ、サウ云フ風ニ努メテ行キタイト思ッテ居リマス、尙ホ其外ニ私共ノ腹案トシテ持ッテ居リマスノハ、保險課ニ勤メテ居リマス職員、細マノシタ、事業主ヲ指導シテ、其方面ヲ擔當スル擔任者、或ハ指導區域、指導係ト云フ風ナモノヲ定メマシテ、懇切ニ指導スルト云フ趣旨ヲ明カニスル、場合ニ依ッテハ其事業主達ガ書面ノ上ニ於テ書クノヲ億却ガッテ居ルヤウナモノヲ、或ハ代ッテ書イテヤルトカ、又書面ヲ從來必要トスルモノデモ、差支ナキ限りハ口頭デ受理ヲスルコトカ云フヤウナコトモ考ヘテ見タイ、マアソナ風ナ事柄ニ付キマシテ、今迄モ研究中デアリマスガ、尙ホ今後一年ノ間ニ十分ニ誠意ヲ以テ被保險者並ニ事業主ノ便利ニナルヤウニ、煩雜ヲ避ケルヤウニ

努メタイト思ッテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマシテ、折角御研究中デアリマシテ、成案ヲ急イデ居ラレト云フコトヲ承リマシテ満足イタシマス、尙ホ更ニ此上トモ十分ノ御研究ト、有効適切ナル具體案ヲ得ラレマスコトヲバ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 本案ニ付テ大體質問モ終了ト存ジマスガ、マダチヨット時間ガアルヤウデゴザイマスカラ、癡兵院法ノ改正案ニ付テ、當局ヨリ一應説明ヲ願フコトニ致シテ御意議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵松本宗隆君) ソレデハ……

○政府委員(丹羽七郎君) ソレデハ私ヨリ一應本案ヲ御説明致シタイト存ジマス、君國ノ爲ニ一身ヲ捧ゲマシタ傷痍軍人ニ對シマシテ、優遇ノ途ヲ講ズルト共ニ、軍人及ビ傷痍軍人ノ遺家族ノ保護ヲ厚ク致シマスルコトハ、國家國民トシテ重要ナル責務デアルト申サネバナリマセヌ、此方面ニ於キマスル制度トシテハ御承知ノ如ク、明治三十九年ノ制定ニ係リマス癡兵院法竝ニ大正六年ノ制定ニ依リマス軍事救護法ガゴザイマス、右ノ中癡兵院法ハ實施以來既ニ

二十八年ヲ經過イタシ、其間戰鬪又ハ公務

ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ、不具、癡疾トナリマシタ軍人ヲ癡兵院ニ收容シテ救護イタシタノデゴザイマスルガ、大正七年以來ハ軍事救護法ノ施行ニ依リマシテ、軍人ノ遺家族、傷痍軍人竝ニ其遺家族中、生活困難ナル者ニ對シマスル一般の救護制度モ備ハリマシテ、殊ニ去ル昭和七年ノ同法改正ニ依リマシテ、其内容モ著シク改善セラレマシタノデ、今日トシテハ傷痍軍人ニ對シマスル從來ノ癡兵院制度ニ付テ相當改正ヲ加フルコトガ急務デアルト考ヘラル

ルノデゴザイマス、茲ニ於キマシテ、先ヅ癡兵院ナル名稱ガ傷痍軍人ノ名譽ヲ表徴スルニ適セザルノ憾ミガアリ、從來其改稱ノ必要ガ感ゼラレテ居リマシタルコトニ鑑ミマシテ、之ヲ傷兵院ト改正イタスコトト致シマシタ、又現在ノ制度ハ主トシテ貧困救濟ヲ其立前ト致シテ居リマスルガ、之ヲ改メマシテ癡兵院ハ戰鬪又ハ公務ニ因リマシテ傷痍ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リマシタ者ノ中、其精神又ハ身體ニ著シキ障礙ガアリ、特ニ收容シテ保護ヲ爲スノ必要アルモノヲ入院セシムル立前ト致シ、以テ癡兵院ヲシテ國家ノ爲ニ一身ヲ捧ゲ、其結果誠ニ不自由ナル境遇ニアル傷痍軍人ニ對スル特別ノ

施設タラシムルコトト致シ、一方ニ於キマ

シテ軍事救護法其他ノ公私ノ保護救濟ニ付キマシテハ、益、是ガ普及徹底ヲ圖ルト共ニ、傷痍軍人ニ對シマシテハ特ニ之ヲ優遇スルノ趣旨ヲ明ニ致シマシテ、此制度ノ機能ヲ一層有效ニ發揮セシメ、時運ノ進展ニ對處スル、一助タラシメムトスルモノデゴザイマス、尙ホ現在ノ癡兵院ハ移轉改築ヲ必要ト致シマスルノデ、之ガ新營ニ要スル經費ニ充ツル爲メ、癡兵院基金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入レマシテ使用シ得ルコトト致シマシタ、尙ホ又現行法ニ於キマシテハ施行ノ實績ニ徴シマシテ、改正ヲ要スル點ガアリマスルノデ、字句等ニ付テモ若干改正ヲ要スル部分ガアリマスルノデ、是等ニ關シマシテモ、此機會ニ併セテ改正スルコトト致シタノデゴザイマス、今其改正ノ要點ヲ申述ベマスレバ、第一ハ癡兵院ト云フ稱呼デアリマスガ、現行法デハ「癡兵院法」或ハ「癡兵院」トアリマスルガ、是ハ名譽アル傷

痍軍人ヲ表徴スルニ適當シナイ憾ガアル、先ノ兵役義務者及癡兵待遇審議會ニ於キマシテモ、「癡兵」ナル稱呼ヲ「傷痍軍人」ト改ムルコトニ答申ガアリマシタノデ、是等ヲ斟酌イタシマシテ、法律ノ題名ヲ「癡兵院法」ト云フヲ改メ、「癡兵院」ヲ「傷兵院」ト

改ムルコトニ致シタノデアリマス、第二ハ傷

兵院入院資格ニ關スル事項デゴザイマシテ現行法第一條ニ於キマシテ「戰鬪ノ爲傷痍ヲ受ケ、軍人恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クルモノニシテ救護ヲ要スル者ハ、命令ノ定ムル所ニ依リ癡兵院ニ收容ス」ト規定イタシマシテ、同法施行規則ニ於キマシテ、原則トシテ自己ノ資産又ハ勞役ニ依リ自活スルコト能ハザル者ニ限りマシテ、收容スルト云フ救護制度ノ立前トナツテ居リマシタガ、今回ハ特ニ重キ程度ノ不具癡疾者ヲ收容シテ、適當ナル保護ヲ加ヘルコトト致シマシテ、其程度ハ之ヲ同法施行規則ニ於テ明ニスルヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙現行法ニ於キマシテハ戰鬪ニ準ズベキ公務ニ依リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ、單ニ公務ニ因ルモノトシテ第二條ニ規定シ、入院ニ關シテハ戰鬪ニ依リ傷痍ヲ受ケタル者ノ方ヲ優先的ニ取扱フコトト相成ッテ居リマスルガ、是等ノ者ハ戰鬪ニ依ルモノト同様ニ取扱フコトヲ適當ト認メマシテ、之ヲ第一條中ニ含マシメ、第二條ハ普通公務ニ因ル者ノミト致シマシテ、其收容ヲスルコトヲ得ル場合ニ第一條ト同様ニ改正ヲ加ヘタノデゴザイマス、以上ノ二點ガ今回改正ノ重要ナルモノデアリマスルガ、本法

ノ改正並ニ從來ノ實績ニ徴シマシテ、退院命令ヲ發スル場合ノ規定ニ若干ノ改正ヲ加フル必要ガアリ、又現行法ニ於キマシテハ「療兵院ニ收容」ト云フ字句ヲ用キテ居リマスルガ、「收容」ト云フ字句ハ其響ガ如何ニモ本制度ヲ設ケマシテ趣旨ニ適シテ居ラヌヤウニ感ゼラレマスルノデ、之ヲ「入院」ト改メマシテ、又大正十二年恩給法ノ制定ニ伴ヒマシテ、現行法條文中ソレノ字句其他ノ點ニ付キマシテ改正スルヲ要スルモノガアリマスルノデ、關係法上ニソレノ改正ヲ加ヘタ次第デゴザイマス、尙今回ノ收容資格ノ改正ニ依リマシテ、現ニ療兵院ニ收容中ノ者デアリマシテ、改正法ノ資格ヲ具備セザル者モ相當ゴザイマスルガ、是等ノ者ハ本法ノ改正ニ拘リマセズ、其儘引續キ入院セシメ得ルコトニ規定イタシタ次第デゴザイマス、最後ニ療兵院基金ノ一般會計繰入使用ニ關スル事項デゴザイマスルガ、現在療兵院ノ位置ハ之ガ設置當時ニ比ベマスト著シク四圍ノ事情ニ變化ヲ來シマシテ、傷痍軍人ノ收容施設ト致シマシテハ適當デナイヤウナ狀態ニ立チ至リマシタ、且又寮舎モ約二十六年前ノ建築ニ係ル木造ノ建物デアリマシテ、既ニ改築ヲ要スル時期ニ達シテ居リマスノミナラズ、其設備内容ニ於キ

マシテモ、時勢ノ進展ニ伴ハザルモノガ少ナクアリマセヌ、傷痍軍人ノ處遇上遺憾ナル狀態ニアリマスルノデ、政府ニ於キマシテハ昭和九年度ニ於キマシテ、移轉改築ヲ爲ス計畫ヲ立テ、是ガ新營ニ要スル經費ヲ豫算ニ計上イタシマシタ次第デゴザイマスルガ、其財源ニ付キマシテハ之ヲ療兵院基金ニ求メルヲ適當ト認メマシテ、之ニ據ラント致ス次第デゴザイマス、蓋シ療兵院基金ハ療兵院ニ寄附セラレマシタ不動産、金錢、有價證券ヨリ成立イタシテ居リマシテ、現療兵院ノ敷地、事務所等ハ療兵院基金ニ屬シテ居ルノゴザイマスルガ、療兵院ヲ移轉イタシマスルト現在ノ場所ニ於テ之ヲ保有イタス必要ガナクナリマス、從ヒマシテ之ヲ賣却イタシマシテ、其實却代金ノ一部ヲ療兵院新營ニ必要ナル經費財源ニ充當スルコトト致シタイト考ヘルデアリマス、然ルニ療兵院法第七條ニ於キマシテハ基金ハ之ヲ蓄積スルコトニ相成ツテ居リマスルノデ、此規定ニ特例ヲ設ケマシテ、特ニ基金ヲ使用スル途ヲ開カネバナリマセヌ、即チ傷兵院新營ノ經費ニ充當スル爲ニ基金ノ中五十萬圓ヲ限リマシテ一般會計ニ繰入レルコトト致シマシタ、本改正法律ノ附則ニ於テ是ガ規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス、

之ニ關聯イタシマシテ、附則第三號ニ於テ基金ヲ一般會計ニ繰入使用シ、之ニ依リマシテ得マシタ所ノ土地建物其他ノ工作物ハ之ヲ基金ト爲スコトト致シタデアリマスルガ、是ハ成ルベク基金ノ減耗ヲ避ケルト云フ趣旨ニ出タモノデゴザイマス、改正法律案提出ノ趣旨ハ概略以上申上ゲマシタ通リデゴザイマスルノデ、何卒御審議ノ上、速カニ御決議アラムコトヲ望ム次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 陸軍政務次官モ御出席ニナツテ居リマスカラ、時間モ迫ツテ參リマシタガ、極ク簡單ニ質問ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス、宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 宜シウゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 本改正案ハ機宜ニ適シタ誠ニ結構ナ改正案デアルト存ジマス、就キマシテハ茲ニチヨット御伺ヒ致シタイト存ジマスルコトハ、新療兵院ノ收容人員ハ幾ラ位ノ御豫定デアリマセウカ、又療兵院收容有資格者ハ全國デ凡ソドノ位ゴザイマセウカ、先ツ此二點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(富田愛次郎君) 只今ノ御尋ネノ一點ノ、收容人員デアリマスガ、ソレハ新營シマシタ療兵院ノ收容人員ハ約百名ノ

豫定デゴザイマス、ソレカラ第二ノ御尋ネノ本法ノ適用ヲ受ケル資格者ノ數ト云フ御尋ネゴザイマスガ、實ハ傷兵其モノノ、是ニ該當スルモノノ正確ナル數字ハ申上ゲ兼ねマスガ、陸海軍人デ増加恩給ノ受給シテ居ルモノ、即チ増加恩給、此資格者ニ該當スル者ハ當然這入ルデアリマスガ、其増加恩給ノ受給者ノ總數ハ、昭和七年末ノ現在デ、陸軍ニ於キマシテ増加恩給ヲ受ケマスモノノ數ハ一萬四千三百五十四人、ソレカラ海軍ニ於キマシテハ受給者ノ數ハ、一萬五千四百八十四名ト、斯ウナツテ居リマス、ソレ等ノモノノ内、本法ニ該當スル資格者ノモノガ入院シ得ルコトニ相成ツテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御答辯ニ依リマスト、療兵院收容有資格者ハ一萬以上ニモ上ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、而モ斯カル多數ノ有資格者ヲ有シテ居ルニ拘ラズ、今回新營セラレマス療兵院ノ收容人員ハ僅僅百名ニ過ギナイト云フコトヲ伺ヒマスルト、如何ニモ其規模ガ小サキニ失スルカノ憾ガアルヤウニ存ジマス、就キマシテハ將來更ニ是ヲ擴張増加セシメラレルト云フヤウナ御考ハアリマセヌデセウカ、又全國的ニ此療兵院ノ恩惠ニ浴セシメルト云フ爲

ニハ、國內數箇所ニ之ヲ分ツテ、適當ナル場所ニ傷兵院ヲバ新營スルト云フヤウナ御考ハアリマセヌデセウカ、併セテ御伺ヒ致シマス

○政府委員(丹羽七郎君) 只今他ノ政府委員ヨリ御答ヲ致シマシタノデアリマス

ガ、モウ少シ私詳シク申述ベタイト思ヒマスルガ、今回ノ傷兵院法トシテ改正ヲ致シマスル場合ニ、入院資格ヲ有スル者ハ所謂茲ニ擧ゲテ居リマシヤウニ、收容保護ヲ必要トスル者ト、斯様ナ規定ヲ致シタノデゴザイマスルガ、然ラバ收容保護ヲ必要トスルト云フモノハドウ云フモノヲ意味スルノデアルカ、斯ウ云フコトニ相成ルト思ヒマスルガ、其點ハ命令ノ定ムル所ニ此法律ハ讓ッテ居ルノデアリマスルガ、私共ノ今日マデ關係當局ト十分協議イタシマシタ結果ニ於キマシテハ、是ハ増加恩給ノ各症項ガ定マツテ居リマスルガ、其中ノ詰リ重イ症項ニ當ル者、即チ三項症以上ノ者ノ中カラ收容保護ヲ要スル者ヲ入院セシメタイト、斯様ニ考ヘテ居リマスルヤウナ次第デゴザイマス、ソレデ三項症以上ノ者ヲ假リニ勘定ヲ致シテ見マスルト、先程御答ヲ申シマシタヤウニ、多數ノ傷兵軍人ノ中カラ三項症以上ノ者ヲ拾ヒマスルト、海陸ヲ通ジマシテ二千

四百人バカリニ相成ルノデゴザイマス、所デ二千四百人ニ相成リマスルケレドモ、尙ホ先程ノ梅園子爵ノ御尋ネノヤウニ、マタ是デモ百名ト云フ收容定員デハ不足デハナイカト云フ御尋ネガ起ルト思ヒマス、是ハ傷兵院法ノ外ニ、御承知ノ通りニ軍事救護法ガゴザイマシテ、軍事救護法ニ於キマシテ、是ハ貧困ト云フコトヲ條件トハ致シテ居リマスルガ、必要ガアル場合ニハ軍事救護法デ收容スルコトモゴザイマセウシ、疾病其他ニ對スル保護ヲ致スコトモ出來マス、殊ニ居宅ニ於テ救護ガ出來ルト云フノガ、軍事救護法ノ最モ一ツノ特色トナツテ居ルヤウナ次第ナノデゴザイマス、從ヒマシテ現在マデノ所デハ傷兵軍人ニシテ傷兵院ニ入院ヲ申請イタシマスル者ハ、必シモ多クナイノデゴザイマス、ソレデ現在マデノ入院希望者ト云フモノハ、大體見通シマシタ所デ、先ヅ百名程度、今回ハ百名ノ收容定員デゴザイマスルガ、外ニ病床ノ二十程モ備ヘルト云フヤウニ、内容ニ於テハ充實ヲ致シマスルノデ、十分百名ノ收容ガ出來ルト思フノデゴザイマスルガ、左様ナコトニ致シマスルノデ、先ヅ今日ノ所マデデハ、大體此程度ニテ支障ガナイノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ今回ノ計畫ヲ定メマシタ次第

デアリマス、併ナガラ今後ノコトニ付キマシテ、滿洲事變、其他ノ關係等モゴザイマシテ、將來更ニ斯様ニ必要ガ起ルノデハナイカト云フ御尋ネモアリマスル所ハ、誠ニ御尤デアアルカト存ゼラレルノデアリマスシ、又東京附近一箇所ト云フノハ不足デハナイカト云フ御尋ネニ對シマシテモ、御尤デアルト考ヘルベキ理由モアルヤウニ存ゼラレマスルガ、ソレハ今後ノ實情ニ付キマシテ 必要ナルヤ否ヤヲ十分考究イタシマシタ上デ、適當ニ善處イタシタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今伺ヒマスルト、三項症以上ノ重傷者ガ二千四百幾ラアルト云フヤウニ伺ヒマス、此數ハ相當多數ノモノデアルト考ヘマスルガ、此數ニ對シテモ百名ノ收容人員ト云フモノハ僅少ニ失スルカノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、只今ノ御答辯ノ中ニハ一方デハ軍人救護法ガアル、又現在ノ制度デハ先ヅ入院希望者ハ百名ノ見當デアアルカラ、收容人員ハ百名デ以テ足リルト云フヤウナ風ニ伺ヒマシタガ、茲ニ多少私ハ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、軍人救護法ハ成程アリマスルシ、行ハレテ居リマスガ、果シテ、是ガ此傷兵院ニ代ルダケノ立派ナ成績、ソレダケノ何

ヲ擧ゲテ居ラレルカドウカト云フコトモ疑ヒマスシ、ソレダケ手篤イ支給ヲシテラレルカドウカト云フコトモ疑フ次第デアリマス、一方ニハ入院希望者ガ百名位シカ現在デハナイト云フ點ハ、現在ノ設備ガ非常ニ小サイカラ多クノ希望者ガ假リニアリマシテモ、到底希望シテモ入ラレル見込ハナイト云フノデ、現在ニ於テハ申出ル希望者ガ少イノデハナカラウカ、若シ茲デ設備ヲ完備イタシマシタナラバ、何シロ三項症以上ノ者ガ二千四百幾ラアルト云フノデアリマスカラ、遙ニ多數ノ入院希望者ガ出ヤシマイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、此點如何ナモノデアリマセウカ

○政府委員(丹羽七郎君) 今日迄ノ實績ヲ考ヘマスルト、入院希望ヲ致シテ居リ乍ラ拒否サレルト云フヤウナコトハ、此重イ症項ノモノニ付キマシテハ、是ハ無イノデアリマス、實際申請ヲ致シマシタ場合ニ、三項症以上位ノモノデ、今日迄申請ヲ致シタモノハ全部收容ガ出來テ居ルヤウナ次第デアリマス、從ヒマシテ申請ヲ致シテモドウモ這入レナイダラウト云フヤウナコトデ申請ヲシナカッタト云フコトハ無イノデハナイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ私共ト致シマシテハ、出來ルダケ傷病院ノ

設備モ良ク致シタイト考ヘテ、今回ノ

ヤウニ新營ヲ致シマスル次第デゴザイ

マスガ、斯ノ如ク段々完備イタシテ参リ

マスレバ、更ニ申請者ガ殖エルノデハナイ

カト、サウ云フコトモ御尤ノヤウニモ我ミモ

考ヘマスルガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、

マダドウモ十分判斷ヲ致シ兼ネルノデハナ

イカト思ッテ居リマス、十分今後ノ實情ニ付

キマシテ考メテタイト、斯様ニ考ヘル次

第デアリマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) チョット今ノ

梅園君ノ質問ニ關聯シテ伺ヒタイノデス

ガ、是迄ハ御説明ニ依ルト救貧制度ノ立前

デアルト云フコトデアリマスカラ、サウ云

フ其制限サレタ立前カラ收容サレテ居リマ

シタカラ、九十名デスカ位ノ程度デ濟ンデ

居ッタと思フノデスガ、此度ハ救貧制度デナ

クシテ、詰リ精神上、肉體上ノ不自由ナル

モノヲ國家ガ保護スルト云フヤウナ廣イ意

味ニ於テノ優遇デアリマスルカラ、理論ト

シテハ當然此立法ノ解釋ハ變ッタト同時ニ、

大イニ是ハ擴張サレテ行カナケレバナラヌ

ヤウニ考ヘラレルノデスガ、然ルニ矢張り

依然トシテ人員ハ十名足ラズノ増加位ノコ

トデ御經營ニナルヤウデスガ、ドウモソコ

ハ私ハ甚ダ素人デスガ腑ニ落チヌノデス、

今少シ御説明ヲ得タイト思ヒマス

○政府委員(丹羽七郎君) 松木伯爵ノ御尋

ネデアリマスガ、誠ニ御尤ナル御尋ネガラ

ウト思フノデアリマス、從來ハ救貧制度……

救護ヲ致スト云フ立前デアリマスルノデ、

貧困ト云フ條件ガ附イテ居ッタ次第デゴザ

イマス、今回ハ左様ナ制限ハ取り止メマシ

テ、收容保護ヲ必要トスル傷痍軍人デアレ

バ、之ヲ入院セシメルト云フ立前ヲ採リマ

シタ爲ニ、ドウ云フ結果ニナルカト云フコ

トニ付キマシテハ考究ヲ致シテ見タノデア

リマスルガ、矢張り此家族ト離レテ、此處

ニ入院ヲ希望スルト云フ人達ハ、貧困デナ

イ人ノ方ニハサウ澤山ハ起ライノデハナ

イカト云フヤウナ、大體是ハ見透シ、見込

デゴザイマスガ、決シテ貧困ト云フコトハ

條件トハ致シマセヌガ、矢張り貧困デナイ

人達ノ中カラハ、サウ澤山ハ出ナイノデハ

ナイカト云フヤウナ考モアリマスルノデ、

現在ノ所デハ、先ヅ此程度ト云フコトニ致

シテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、ド

ウモ傷痍軍人デ相當重イト云フモノデアリ

マシテモ、相當看護ヲ致シマスルモノガア

ル、或ハ看護ヲ致シテ居リマシテモ、生活

ニサウ困ッテ行カナイト云フヤウナ人達ノ

中カラハ、多數ハドウモ希望ヲサレナイノ

デハナイカ、先ヅモウ少シ是ハ實施後ノ狀

況ヲ見テモ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘ

マシテ、大體從來マデノ規模ヲサウ大キク

致シマセヌデ、内容ノ充實ヲ致スト云フ方

ニ、今回ハ重キヲ置イタヤウナ次第デアリ

マス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 今一應伺ヒタ

イト思ヒマス、同ジヤウナコトデスガ、マ

ア意見ガ違フカモ知レマセヌ、從來ハ自己

ノ資産又ハ勞役ニ依ッテ自活スルコト能ハ

ザル眞ノ救貧制度デアッタ爲ニ、其入院者ト

云フモノハ斯ウ云フ制限ノ下ニアルノデス

カラ、小數デアッタと思ハレルノデスガ、併

ナガラ今度ハ斯ウ云フ立前ヲ全然離レテ、

國家ガサウ云フヤウナ君國ノ爲ニ盡シタニ

依ッテ、之ヲ優遇スルト云フヤウナ立前ヲ變

ヘマシテ、サウシテ國家ガ之ヲ扱フコトニ

ナラレルノデスカラ、今迄ハ已ムヲ得ズ寡

居シテ其處ニ世話ニナッテ居ッタ者ガ、國家

ガサウ云フ恩典ヲ加ヘ、又其傷兵院ナルモ

ノガ追々構造モ宜クナリ、又設備モ宜クナ

ルトスレバ、ソレハ何モ生活ノ云々ヲ離レテ、

不自由デアレバ、其同類モ入レ仲間モ入レテ、

共ニ樂シムコトガ出來ルノデスカラ、ソレ

ノ方ニ向ッテ行クト云フコトガ、私ハ常識上

當然グラウト思フ、ソレハドウモサウ云フ

方面トシテ御考ヘニナレバ、ドウ云フ療舎

ガ出來テ新營サレルカモ知レマセヌガ、其

療舎及ビ新營設備ニ於テモ餘程御考ヘニナ

ラナケレバナラナイト、即チ先ヅ相當這入ッ

テ來ルモノ、又國家ガソレダケノコトヲ、

無暗ニ法ヲ以テ恩典ヲ與ヘテ、一方ニ施行

規則ニ依ッテ制限スルト云フヤウナコトガ

アルベキモノデアアリマセヌカラ、矢張り

相當増加シナケレバナラヌト云フヤウニ私

ドモ感ズルノデスガ、サウ云フヤウナ推測

ガ常識デアラウカト私ハ思フノデ、ドウモ

法ノ立前ガ變ッタ割ニ設備ガ一向應ジテ居

ナイ、直ニ茲ニ新營ナシカニ於テ行詰マル

ヤウナコトガ生ジハシナイカト思ハレルノ

デスガ、是ハ矢張り政府デハ過去ノ救貧制

度ニ依ッテ實踐デ、立前ガ變ッテモ矢張り九

名カ十名位ノ増加ニ過ギナイト云フ御見込

デ矢張りオイデニナルノデゴザイマスガ、

伺ッテ置キタイノデス

○政府委員(丹羽七郎君) 私共ハ折角今回

傷兵院ヲ新營イタシマスルニ付キマシテ

ハ、重イ、極メテ不自由ナ、厚ク同情ヲ致サ

ネバナラヌヤウナ傷痍軍人ガ、樂シンデ此

處ニ這入ッテ貰ヘルト云フヤウナコトヲ望

ンデ居ルノデゴザイマスルガ、ドウモ實際

ノ實情ヲ見マスルト、サラバト云ッテ、自分

ノ家族カラ離レテ直グニ這入ルト云フコト
ガ、今日迄ノ經驗、之ハ貧困ト云フ條件ガ
アツカラト云フ御話デゴザイマスルガ、是
ハ傷痍軍人ナリ我ガ國ノ實情ナリヲ大觀イ
タシマシテ、サウ俄カニハ殖エナイノデハ
ナカラウカ、之デ決シテ私共ハ十分ダト、
ス様ニ考ヘテ居ル次第デハゴザイマセヌケ
レドモ、差當リ此程度デ宜シイノデハナイ
カト、ス様ニ考ヘテ居リマシテ、之デ十分
満足ヲ致シテ居ルト云フ譯デハナイノデゴ
ザイマスルガ、ソレハ今後ノ實情ヲ十分見
マシタ上デ適當ニ考ヘタイ、ス様ニ存ジテ
居ル次第デゴザイマス

○委員長(伯爵松本宗隆君)

今一點序デニ
伺ヒタイ、之ハ甚ダ素人デ、愚問ニ屬スル
カモ知レマセヌガ、斯ウ云フ戰鬪又ハ戰鬪
ニ準ズベキ公務ノ爲ニ、精神及肉體上ニ於
テ非常ニ不自由デアルト云フコトハ、申ス迄
モナク君國ノ爲ニ一身ヲ捧ゲタ結果デアッ
テ、同僚ガ戰死シ、其一人ガ斯クノ如キ癡
疾ノ運命ニ至ッタノハ、殆ンド或ル意味ニ於
テハ戰死者同様ノ狀態デアルト思フノデア
リマス、ソレニ對シテ此度國家ガ優遇サル
ルト云フコトハ、誠ニ結構ナコトニ思フ、
ソコデ之ヲ軍部ノ人ニ伺ヒタイ、ソレハ、
サウ云フモノハ既ニ理論的ニ於テハ兵籍ヲ

離レタモノデアルト云フコトデ、陸軍ノ管轄
ヲ離レテ、之ヲ内務省ニ移シ、内務大臣ノ
考ヘ次第ニ依ッテ、其申請ト云フモノハ恐ラ
クハ内務大臣ノ見込ニ依ッテ之ヲ取捨サル
ルト云フコトデアラウト思フ、ドウモソコ
ガチヨット私了解シナイノデ、サウ云フヤウ
ナ肉體精神上ニ、戰鬪ニ掛カッタ不自由ナモ
ノヲ國家ガ優遇スルト、而シテ其人間ハ或
ル意味ニ於テハ戰死者ト同様ナ程ノ不自由
ナ身體ヲ持ッテ居ルモノデアアル、只單ニソレ
ヲ兵籍ヲ離レタガ故ニ之ヲ内務省ニ移シ
テ、入院ハ大臣ノ取捨ニ委スト云フコトハ、
陸軍トシテハ如何ナモノデアリマセウ、
只單ニ兵籍ヲ離レタト云フ、サウ云フ筋道ノ
ミヲ考ヘラズシテ、之ハ甚ダ素人デスガ、
サウ云フ非常ナ不具者癡疾者ト云フモノハ、
陸軍ノ方ノ所管ニシテ、サウシテ陸軍ノ方デ
之ヲ扱ハル、ト云フコトニシタ方ガ、其癡
疾者モ、矢張り非常ニ國家ノ恩典、竝ビニ
自分ノ陸海軍ノ關係デ軍部ガ世話シテ呉レ
ルト云ヘバ死ス迄非常ナ感謝ヲ以テ其人間
ガ終始スルコトデアリ、又出發ニ際シテハ
鄉黨ガ皆旗ヲ持ッテ、サウシテ見送ル、不幸
ニシテ非常ナ癡疾ニナッテ歸ッテ來ル、鄉黨
ハ之ヲ悲シム、而シテソレハ少シデモ不自
由デナケレバ宜イガ、非常ナ不自由ナ身體

デアアルカラ、サウ云フ立前カラ見テモ陸軍
ガ、此數ニ見テモ僅カデス、或ハ將來殖エ
テモ、サウ何千人モト云フ譯デハナカラウ
カラ、之ハ大イニ矢張り軍部ガ世話ヲサレ
タ方ガ宜シイ、其人モ宜シ、又國家モ優遇
ニ於テ誠ニ當ヲ得タモノデハナカラウカ
ト、斯ウ素人考デスガ、恐ラクハ軍部ノ方
デハ、斯ウ云フ立前ハ各國ノ例ヲ御調ベニ
ナリ、色ミ御研究ノ結果、斯ウ云フ所管ヲ
離レタコトニナッタノデセウガ、併ナガラ癡
兵院ト云フ名稱モ改マリ、傷兵ニ國家ガ非
常ニ……不具者ニ恩典ヲ付セラレタノデス
カラ、一片ノ只籍ヲ離レタト云フヤウナ筋
デナクシテ、暖カキ同情ヲ以テ歩ムト云
フ、軍部ガ一ツ此際、此傷兵院ヲ、軍部ノ
管轄ニシテ世話シテ行クト、而シテソレハ
軍部ガ非常ニ金ガ掛カル譯デモナク、基金
ナルモノガ相當アリ、又今日ハ軍部ニ對シ
テ、色ミノ軍器ニ付テモ、飛行機モ、皆國
民ガ喜ンデ獻金ヲシテ居ルノデスカラ、之
ハ陸軍所管ノ傷兵院トナッテ、基金ヲ要スル
場合ニ於テハ、國民ハ決シテ相當ノ寄附ヲ
ナスニ吝ナラザルモノト察セラレノデア
リマスカラ、一ツ甚ダ愚問デスガ、了解シ
得ルヤウニ軍部ヨリ御説明ヲ得タイト思ヒ
マス

○政府委員(子爵土岐章君)

私カラ御答辯
申上ゲマス、只今ノ御質問ノ御趣旨ハ誠ニ
御尤デゴザイマスルガ、從來癡兵院ナルモ
ノハ、軍ノ管理ノ下ニアッタノデゴザイマス
ルガ、軍時救護法ヲ内務所管ニ移シマシタ
關係上、癡兵院モ同時ニ内務省管轄下ニ置
クト云フコトガ最モ事務上適當ト考ヘマシ
テ、内務省ノ所管ニ移シテアル次第デゴザ
イマス、又今日ハ御説ノ如ク國民皆兵ノ時
代デアリマスルノデ、軍ト言ハズ國家ガ總
テ忠勇ナル軍務ニ服シテ居リマシタ所ノ者
ガ公傷ヲ生ジタコトニ對シテ、十分ニ保護
療養ヲ與ヘマスルコトハ必要デゴザイマス
ルノデ、別ニ陸軍ガ直接之ヲ管理イタスト
云フコトヨリモ内務省ニ於テ之ヲ管理イタ
スコトノ方ガ適當デアラウト考ヘテ居リマ
ス、勿論此度ノ事變ノ如キ國民總テガ陸軍
ノ手ヲ通ジマシテ、恤兵其他ニ對シテノ溫
カイ同情ニ對シテハ其意思ヲ傳ヘルコトニ
十分ナル努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴ
ザイマス

○委員長(伯爵松本宗隆君)

尙ホ一應、別
ニ議論スル譯デヤアリマセヌガ、ドウモ御
話ニ依ルト第一點ハ軍事救護法ノ場合ニ事
務的ニ之ヲ内務省ニ移サレタト云フ、事務
上ノ一ツノ行キ方ガアツタラウト思フノ

デス、其時ニ若シ私ノヤウナ感じヲ持ッテ居ッタナラバ、ソレヲ陸軍カラ離シテ内務ニ移スコトナク、他ノ方ハ免ニ角、癡兵院ダケハ軍部ノ方デヤッテ行クト云フコトニ私ハアルベキダと思フノデアリマス、ケレドモ唯單ニ事務的ニ便利ダカラソレデヤッテシマフト云フノデ行ハレタラシイガ、私ハ甚ダソレハ遺憾ニ思フ、第二點ノ御答ハ國民皆兵デヤッテ、總テ恤兵ナリ何ナリハ皆國民ノ同情心ガ厚イ、ソレハ仰セノ通りニ事變以來國民ノ寄附行爲ノ實ニ盛ナルコトハ承知シテ居リマスガ、併シ私ガ今申シタノハ二點デアリマスガ、サウ云フ不自由ナ者ガ申請スル場合ニ於テ之ヲ許否スル權利ハ内務大臣ガ持ッテ居ルヨリハ私ハ陸軍大臣カ、或ハ海軍大臣ガ持ッテ居ラレル方ガ、人情トシテ宜シクハナイカ、其管轄タル軍部ノ人ガ御前ハ宜シイ、御前ハイケナイト云フコトデアレバ喜ンデ其許否ニ私ハ心服シテ行クト思フ、唯内務大臣ガ其人間ハドウ云フ行動ヲ取ツト云フコトヲ間接ニ聽カレタ上デ、形ノ上デ許否サレルニ於テハ、私ハ其當人ハ心服シ得ナイト思フ、是ハ矢張り軍部デ許否ヲサルル方ガ、當人トシテサウ云フ不自由ナ運命デスカラ、心服サス點ニ於テモ私ハ軍部ノ

管轄ニアルベキモノダと思フ、ソレカラ又一般國民ガ色々ノ點ニ於テ寄附行爲ヲシテ居ルノハ何モ陸軍管轄ダカラ、或ハ内務省管轄ダカラト云フコトノ區別ハナイ、是ハ御尤デスガ、併ナガラ私ハソレハ少シ人情ニ遠ザカッタ話デ、皆鄉黨ガ之ヲ送テ、東京ノ一聯隊トカ宇都宮ノ何聯隊カラ出タト云フノデ、鄉黨ノ人間ガ送り出シタ其人間ニ非常ニ關係ヲ持ッテ居ルノデスカラ、其兵ガ今ノヤウナ狀態ニナッテ歸ッテ來タ、時ニ其身體ヲ内務省ノ方ニ直チニ移スヨリモ、矢張り陸軍ノ方デ入院セシムルト云フコトニシタナラバ、鄉黨ノ一般ノ人間モ喜ビ、又ソレニ對シテ相當基本金モ要ルト云フヤウナコトデアレバ、其鄉黨々々ノ者ガ喜ンデ傷兵院ニ私ハ相當ノ基金ヲ寄附スルダラウト思フ、サウ云フ溫カキ立前ヲ以テ行クト云フコトガ、君國ニ對スル所謂身不自由ナル武士ニ對シテ、軍部モ武士ノ厚イ同情ヲ以テ行カレル、ソレ等ノ人ハモウ世ノ中ニ立テナイ人間ダカラ、何處迄モ武士ノ情ヲ以テ扱ッテ行クト云フコトガ、私ハ優遇ノ精神ガ徹底シ得ルモノダと思フ、私ハサウ思フノデス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 討論ニ入ッタ譯デハナイガ、何トカ一ツ御考ヲ願ヒタイト思フノデス

○政府委員(子爵土岐章君) 松木伯爵ノ御意見ハ誠ニ御意見トシテ、政府ハ十分ニ拜聽イタシマスガ、今ノ御考ノ中ニ一點御考違ヒデアリハセヌカト云フ點ガアリマスノデ、私カラ申上ゲテハ甚ダドウカト思ヒマスルガ、勿論戰時ニ於テ或ハ此度ノ事變ノ如キ場合ニ於テ負傷シテ歸ッテ參リマシタ者ニ付テハ、十分衛戍病院ニ於テ治療其他ニ對シテ手當ヲ致シテ居リマス、又治療其モノニ付テハ既ニ恢復イタシマシタ者デモ、轉地ノ必要ノアリマス者ニハ、ソレノ適當ナル溫泉地其他ノ療養所ニ收容ヲ致シマシテ、平時ノ狀態トシテ差支ノナイ程度ニナリマスル迄ハ、十分之ヲ治療イタシテ居ル譯デゴザイマシタ、只今ノ御話ノ忠勇ナル兵士ガ戰地ニ出マスル時ニハ歡呼ノ聲デ送ラレテ、歸ッテ來タ時ニハ之ヲ陸軍或ハ海軍ノ軍部當局ガ振向カズニ、直ニ傷兵院ニ送ルカノ如キ御考ノヤウニ存ゼラレマスノデ、其點ガ或ハ松木伯爵ノ御考間違ヒデアリハセヌカト云フ風ナ感じガ致シマシタノデ、其點ヲ御説明申上ゲテ置キマス

○子爵梅園篤彦君 甚ダ恐縮デスガ、簡單デスカラ御許シヲ願ヒマス、癩療養所ナドデモ重傷者ヲ除クノ外ハソレノ投産ヲ獎勵セシメテ居ルヤウニ承知シテ居リマスガ、現在ノ癡兵院ニ於キマシテハ收容者ニ投産セシメラレテ居ルノデアリマセウカ、若シセシメラレテ居ラナイト致シマシタナラバ、新營ノ傷兵院ニ於キマシテハ投産セシメラル御考ガアルノデゴザイマセウカ、尙ホ又投産セシメラレタモノト致シマシタナラバ、其收入ハ本人ノ所得トセラレテ居リマスルカドウカ、併セテ御伺ヒ致シマス、尙ホ本法ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトシテゴザイマスルガ、何時頃施行ノ御豫定デアリマスルカ、此際御示シ戴ケマシタナラバ幸ヒト存ジマス

○政府委員(富田愛次郎君) 只今ノ投産ノ御考デゴザイマスガ、現在ノ狀況ハ院其モノカラ無理ニ投産ヲスルト云フヤウナ方法デハナクシテ、所謂本人ノ希望ニ依リマシテ、或ハ藝術的ノ心得ノアル者ハ繪ヲ描キマスとか、或ハ表具ノ心得ノアル者ハ表具ヲスルト云フヤウナコトデ、外部カラ註文ヲ得マシテ、其收得ハ本人ガスルト云フコトデ、本人ノ能力希望ニ依ッテ適當ナル仕事ヲ致シテ居リマス、將來ハドウスルカト

○金杉英五郎君 チョット御話中デスガ、討論ニ入ッタ譯デスカ

云フ問題デアリマスガ、能力ガ残ッテ居ル部分ニ付テモ、ソレガ却ッテ生活上適當デアルナラバ適當ナ仕事ヲスルト云フコトハ、本人トシテモ希望スル所デアリマセウカラ、將來トシテモサウ云フ方面ハ十分ニ考慮シナケレバナラスト考ヘテ居リマス、施行期日ノ問題ハ五月一日カラ施行イタシタイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 本日ハ是ニテ散會イタシマス、明後十五日、午前十時ヨリ開會イタシタイト存ジマス

午後零時二十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵松本 宗隆君

副委員長 男爵松尾 義夫君

委員

公爵島津 忠承君

子爵梅園 篤彦君

川崎 卓吉君

金杉英五郎君

金岡又左衛門君

委員外議員

伯爵川村鐵太郎君

國務大臣

內務大臣 男爵山本 達雄君

政府委員

內務省衛生局長 大島辰次郎君

社會局長官 丹羽 七郎君

社會局部長 富田愛次郎君

同 川西 實三君

大藏書記官 荒川 昌二君

陸軍政務次官 子爵土岐 章君

海軍政務次官 伯爵堀田 正恒君

昭和九年三月十四日印刷

昭和九年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局